

令和5年富良野市教育委員会第10回定例会

開催年月日	令和5年10月30日（月） 午後3時15分開会
開催場所	富良野複合庁舎 2F 教育長室
出席委員	教育長 近内 栄一 委員 宮本 鎮栄 委員 津山 正樹 委員 木村 譲 委員 渡邊 啓子
欠席委員	なし
説明のために出席した者の職氏名	教育部長 佐藤 保 教育振興課長 桑島 洋 教育振興課主幹（指導主事）松原 光利 こども未来課長 西出 和子 教育振興課管理係長 小林 悟司
議事日程	日程第1 会期の決定について 日程第2 議案第1号 令和5年度富良野市青少年表彰について 議案第2号 令和5年度全国学力・学習状況調査の公表について 報告議案第1号 富良野市教育委員会職員等の人事報告（専決処分）について
会議録署名委員の氏名	教育長は、会議録署名委員に次の委員を指名した。 木村委員
傍聴人	なし

議事の経過

開会 午後3時30分

近内教育長

只今より令和5年第10回富良野市教育委員会定例会を開会いたします。
会議録署名委員には木村委員にお願い致します。
次に、教育長事務報告をお願いします。

佐藤教育部長

9月30日から10月29日の事務報告を致します
9月30日、東小にて開校50周年記念式典に出席しています。
10月2日、複合庁舎にて第15回ICT利活用推進本部会議に出席しています。
10月3日、複合庁舎にて沿線教育長会議に出席しています
10月4日～6日、釧路市で全国公民館大会兼北海道公民館大会に出席していま

す

- 10月8日、サンエーホームにて上川管内母子寡婦福祉連絡協議会研修会に出席しています
 - 10月10日、樹海学校にて樹海駅伝開会式に出席しています
 - 10月11日・12日ハイランドふるのにて上川管内教委連教育長部会研修会に出席しています
 - 10月14日 複合庁舎にて、MOA 美術館児童作品展授賞式に出席しています
 - 10月16日 複合庁舎にて、公有財産利活用検討委員会に出席しています
 - 10月18日～20日 全国学校給食研究協議会大会に出席しています
 - 10月23日 複合庁舎にて、統合新設校に係る地域説明会に出席しています
 - 10月24日 複合庁舎にて10月校長会に出席しています
 - 10月24日 旭川市にて開催の上川管内教委連第2回委員研修会に出席しています
 - 10月26日 複合庁舎にて開催の10月教頭会に出席しています
- 以上、報告します

近内教育長

ただいまの説明に若干の追加説明をいたします。

10月18日～20日全国学校給食研究協議会大会ですが、私は、北海道学校給食研究協議会会長として出席しています。

内容の中で、主だったものとしては、子供の心と体を健やかに育むための食育の在り方について議論を深めました。

特に学校教育においては、生涯にわたり健やかに生きることの土台づくりが重要であり、本市では小学校5年生の肥満度が全道全国よりも高く推移していることから食育指導を強化する必要があると考えております。

また、安全・安心な地元産の食材を可能な限り活用し、食に関心を持つとともに、ふるさと教育を進めることが、本市においても人生100年時代の健康で生き生きとした持続可能な地域社会づくりにつながるものであり、昨年、市教委が策定した「子供たちのための食育ガイドライン」の基本により多くの人たちに関心をもっていただきたいと考えております。

10月23日の市内統合新設校に係る地域説明会ではありますが、現在進められている令和7年度開校予定の市内新設高校の概要及びスケジュールなどについて新設校等準備委員会より説明をいただきました。参加者からは新設校の教育内容に前向きな質問や意見が相次ぎ、開校に向けた期待感が大きくなってきていることが実感できました。市教委としては引き続き道教委に対し、新設校の教育環境充実に向けた整備・体制づくりについて、富良野圏域の他町村と一緒に必要を望んでまいりたいと考えております。

近内教育長

只今の教育長事務報告について、何かご質問、ご意見等ございませんか。

無ければ、次に進みます。
これより 議題に入ります。
日程第一 会期の決定についてお諮り致します。
会期については、本日一日と致したいと存じます。これにご異議ございませんか。

《各委員より「異議なし」の声》

近内教育長

ご異議なしと認めます。
よって 只今お諮りのとおり決しました。
日程第二に移ります。
報告議案第1号「富良野市教育委員会職員等の人事異動報告（専決処分）について」ですが、その性質上、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書きの規定により秘密会といたしたいと思っておりますがいかがですか。

《各委員より「異議なし」の声》

近内教育長

「異議なし」と認め、報告議案第1号については、秘密会として他の議案の後に審議することといたします
議案第1号を議題といたします。
議案第1号「令和5年度富良野市青少年表彰について」を説明願います。

佐藤教育部長

議案第1号富良野市青少年表彰規則に基づく令和1年度表彰者の決定について、ご説明申し上げます。

本件は、富良野市青少年表彰規則に基づき、関係機関・団体に対し本年7月に表彰者の推薦について依頼し、合わせて、広報ふらの、市ホームページに同内容の記事を掲載いたしました。その結果、推薦の期日までに、1個人1団体の推薦がございました。

これを受けまして、9月13日開催の第3回富良野市社会教育委員会議に対し、表彰者の選考について諮問をいたしました。

調査を行った後、10月16日の社会教育委員会議におきまして慎重に審議をいただき、議案に記載のとおり、10月17日に本年度の表彰候補者とする答申をいただいたところでございます。

候補者の事績につきましては、議案の中の一覧表のとおりでございますが、あらためてご説明させていただきます。

個人表彰の吉田真央氏ですが、高校を卒業後、市外へ就職するもUターンで富良野市へ戻り、現在のBeing株式会社へ就職。コンシェルジュプラノ内にある宿泊施設でフロント業務やスタッフのマネジメント業務、商品開発などを行っていました。語学も堪能で留学の予定もありながら、ゆくゆくは起業の夢を持ち、

その夢に向かって趣味の旅行で得た知識や見聞を、自分の仕事や富良野のための商品開発、情報発信に生かすなど、富良野を盛り上げるための活動を精力的に行っていました。吉田氏に会うために富良野を訪れるリピーターも多く、人懐こく明るい性格であるとともに、控えめだけど自主的積極的なリーダーシップを持ち、周りの若者に与える影響も大きい、貴重な人材でありました。残念ながら不慮の事故によりこの世を去ってしまいましたが、これまでの活動とその人間性は将来が非常に楽しみな若者の一人であり、他の模範となり今後の活躍が期待されていた方でありました。

次に、団体表彰の富良野高校少林寺拳法部でございますが、全道はもとより全国大会においても複数回の優勝、入賞を果たすなど、非常に顕著な成績をあげております。また大会の成績に目が行きがちではありますが、学校においては目立つ存在でなくとも生徒全体の模範となるような「挨拶」や「礼儀」を実践できる生徒となっております。文武両道を基本に精神と人間性、社会奉仕の心を鍛えるとともに、部員全員が光明寺道院に所属し、自らのさらなる鍛錬の傍ら子ども達の指導も行っております。

幼さやあどけなさの残る高校生であります。練習に取り組むその眼差しや真面目さ、迫力は目を見張るものがあり、強い精神力や社会奉仕の心を育む活動は、地域振興の発展に寄与、尽力しており、今後においても、その活動が地域活性化の一翼を担い、地域の青少年の模範となることが大いに期待されるところでございます。

以上のことから、個人表彰につきましては、表彰規則第3条第1号に規定するおおむね30歳までの青少年であり「日常生活において責任、勤勉又は奉仕などの徳性をもって活動し、明るい地域社会の公益向上に貢献した者」であり、かつ、「職場で創造性や協調性を発揮し、職業人として生産性の向上や職場環境の改善など、職場に貢献した者」「地場産業の振興に貢献した者」、また「これらの活動を3年以上実践している者」に該当し、また団体表彰につきましては、表彰規則第3条第2号に規定するおおむね30歳までの青少年で組織されている団体であり、堅実な活動を常時又は定期的に3年以上継続して行い、それぞれの活動の成果が著しく他の青少年団体の模範となるものに該当いたしますので、本年度の青少年表彰者として決定していただきたくご提案いたします。

以上、よろしくご審議のほどお願いいたします。

近内教育長

只今の説明について、ご質問、ご意見等ございませんか。

《各委員より「なし」の声》

近内教育長

無ければ、議案第1号について同意することに、ご異議ございませんか。

《各委員より「異議なし」の声》

近内教育長

ご異議なしと認めます。よって原案のとおり決しました。

議案第2号を議題といたします。

議案第2号「令和5年度全国学力・学習状況調査結果の公表について」を説明願います。

佐藤教育部長

議案第2号令和5年度全国学力・学習状況調査結果の公表について、ご説明申し上げます。

本件は、令和5年4月18日に実施いたしました全国学力学習状況調査の富良野市の調査概要について、公表しようとするものでございます。

概要の作成にあたりましては、富良野市PTA連合会・富良野市校長会・富良野市教育委員会で構成する富良野市学力向上推進プロジェクトで検討したものでございます。

1ページにつきましては、本調査の目的、概要について掲載しております。

2ページからは、教科に関する調査の結果につきまして掲載しており、小学校では、国語及び算数で全国平均正答率と同等となっております。中学校では、国語、数学及び英語で全国平均正答率と同等となっております。

3ページからは、各教科の調査結果のポイント及び学習指導要領の内容の主な特徴と指導改善のポイントをまとめております。

13ページからは、児童・生徒質問紙調査に関する結果の概要につきまして掲載しており、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が進められているとともにICTの活用が増え、多様な背景を持つ子どもの支援にも活用されております。また、基本的な生活習慣は概ね身に付いているが、家庭学習の取組については課題が見られます。

このことから、学校、家庭における課題と改善のポイントを23ページに示し、学校における授業改善、家庭における早寝・早起き、学習習慣の定着、生活リズムなど、学びの土台となる学びの環境づくりを推進してまいります。

以上、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

近内教育長

只今の説明について、ご質問、ご意見等ございませんか。

《各委員より「なし」の声》

近内教育長

無ければ、議案第2号について同意することに、ご異議ございませんか。

《各委員より「異議なし」の声》

近内教育長

ご異議なしと認めます。よって原案のとおり決しました

近内教育長

これより秘密会といたします。

近内教育長

以上で、本日の議事はすべて終了致しました。

これをもって令和5年第10回富良野市教育委員会定例会を閉会いたします。

閉会 午後4時00分

教育長 近内 栄一

署名委員 木村 譲